

所 信

2019年度一般社団法人陸前高田青年会議所
第47代理事長 村上英将

【はじめに】

陸前高田青年会議所第47代理事長として所信を述べるに当たり、先ずは46年もの長きにわたり、責任感と情熱を胸に、明るく活気溢れる未来の実現に向けて日々運動を展開されてきた先輩諸兄に対し、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

東日本大震災から、8年が過ぎようとしています。住宅の再建も進み、中心市街地には商業施設も完成し、店舗も移転し始め、新しい街の姿が少しずつ見え始めてきました。復興の土台は、できはじめています。街のハード面は着実に前進し、動線ができてきてはいますが、ソフト面を今一度注視してみる必要があるのではないのでしょうか。私たち陸前高田青年会議所は、街に人の流れを創る使命があります。

【地域の変化の創出】

日本全国で問題視している少子化による人口減少と超高齢化問題は、陸前高田及び住田でも避けることができません。経済活動は、その担い手である労働力人口に左右されます。人口急減・超高齢化が現状のまま継続していくと、労働力人口は加速度的に減少していきます。地域の経済を維持するためにどのような策を講じるべきか、大きな転機を迎えていることは事実であります。現実と向き合い危機感を持って、今、行動しなければならないのです。過去を知り、現代を生き、未来に責任を持つ青年だからこそ、未来の発展に向けてとるべき「行動」を示していかなければなりません。

過去を振り返ると、AIDS文化フォーラムなどの運動が陸前高田青年会議所から生まれ、今日まで「民間主導・行政参加」の枠組みで継続されています。陸前高田青年会議所には地域に変化を創出した実績と魅力があり、この地域には変化し続ける可能性と魅力があります。

現在求められる変化を見極め、地域を動かし価値を創造する、そんな役割を担う組織になっていきましょう。

【持続可能な社会】

山はすべての生命の源だと考えます。陸前高田の森林面積は約 70%、住田の森林面積は約 90%であります。山はスポンジのように雨を受け止め、浄化し綺麗な清流となり、海に注がれ全ての生命の源になります。また、人間生活・農業・工業・水産業の生業をもたらすことで「循環の輪」が創られます。

化石燃料を使用することにより人々の暮らしは豊かになりました。しかし、有限資源であるこの化石燃料は、いつかは枯渇します。しかも、使用することで大量の二酸化炭素が排出され様々な環境破壊を引き起こしています。

大切なのは先の世界を見据えることです。

未来を担う世代が安心して暮らすために今、山から川を経て海に至る環境を一体的なものとして認識し、見直していく必要があると思います。

「循環の輪」を創りさらに新たな循環を生みましょう。

【地域の付加価値の創出】

陸前高田及び住田に住み暮らす我々にとって、この地域の歴史・文化を無視することはできません。「風景」「暮らし」「価値観」「食事」全てが地域に根差したもので、ここに暮らす人々によって文化が形成されてきました。では、我々は自分たちが暮らす地域・歴史・文化をどれだけ理解し、誇れるでしょうか。ただ紐解くだけでなく、聞いた人がワクワクするような物語が必要であり、文化の本質を捉えたうえで、誰よりも、物語を伝える我々が心踊る役割を担う必要があります。

「来たらわかる」より「行きたくなる」、「知ると面白い」より「面白そう」な見方と伝え方を工夫して、我々自身が誇り自慢できる地域をプロデュースしましょう。

【次世代プロジェクト】

それぞれの個性を活かし、組織としてより大きな力を発揮するために、相互を理解し各々を尊重しながらも、共通の価値観の元にその土台をしっかりと固めなければならないと考えます。地域のことを思えば、あるいは相手のことを思えばこそ、時には議論を深める必要もあると思います。真の仲間として結束を高めるために、自身の想いを持って、他者の意見に敬意を表し、愛を持ってぶつかり合う組織にしましょう。

後継者不足・人口減少・産業衰退が進みより一層過疎化が進んでいく中で、将来どんな街をのこしたいのか。人づくりをすることで将来のリーダーを創出し続けるようにしてい

ましよう。

【結びに】

自らの置かれた現状を変えずに同じことを繰り返すだけでは成長はありません。成長を止めないためには、未来を描き挑戦し続けることが不可欠です。挑戦には成功と失敗が伴います。失敗してもいいのです。失敗を糧に挑戦する機会を創り出すことで、自己成長へとつなげ、力に変え機動的に行動することを目指しましょう。

10年後、20年後の陸前高田及び住田はどうなっているでしょうか。

我々は未来に何を残していけるでしょうか。

これからの陸前高田及び住田を創るのは、他でもない私たち自身です。

たとえ1人ではできなくても、同じ志をもつ仲間が集まれば変えられます。

空を見上げて未来を描こう・人と繋がり未来を創造しよう。

2019年度（一社）陸前高田青年会議所基本計画

2019年度（一社）陸前高田青年会議所スローガン

敬天愛人
～K点を超えろ！～

基本理念

持続可能な社会を創る

基本方針

- 1, 自己成長を実現する会員の育成
- 2, 地域の明るい未来を創造する事業の実施
- 3, 持続可能な社会の事業の実施
- 4, 子どもの夢と未来への可能性を育成する事業の実施
- 5, まちづくりに産学する事業の実施
- 6, 将来のリーダー候補の発掘
- 7, LOM内外の事業への積極的な参加
- 8, 行政、他団体及び他LOM等との連携

基本計画

- 1, 相手のことを考え、会員それぞれ役割をもった委員会活動を行う
- 2, 地域の現状を見据えた独創的な事業を行う
- 3, 人の顔が見え、参加型の事業を行う
- 4, 子ども達の夢（未来）をサポートし、健やかに成長する為の事業を行う
- 5, にぎわい事業を企画立案及び運営する
- 6, JCの魅力、個々の魅力を発信する
- 7, LOM、岩手ブロック、東北地区及び日本事業への積極的な参加を実践する
- 8, 行政、他団体及び他LOMとの交流や協同事業を行う

2019年度 一般社団法人随前高田青年会議所 収支予算書
2019年1月1日から2019年12月31日まで

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①入会金収入	180,000	312,000	-132,000	
入会金収入	180,000	312,000	-132,000	12,000円×会員拡大15名
②会費収入	4,600,000	4,020,000	580,000	
正会員会費収入	3,400,000	1,920,000	1,480,000	80,000円×現会員42名、40,000円×体会員1名
新入会員会費収入	1,200,000	2,080,000	-880,000	80,000円×+会員拡大15名
特別会員会費収入	0	20,000	-20,000	
その他会費収入	0	0	0	
③事業収入	0	0	0	
登録料収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
販売収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
④補助金等収入	0	0	0	
国庫補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
民間補助金収入	0	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	0	
国庫助成金収入	0	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	0	
民間助成金収入	0	0	0	
⑤負担金収入	0	0	0	
受取負担金収入	0	0	0	
⑥寄付金収入	0	0	0	
受取寄付金収入	0	0	0	
受取募金収入	0	0	0	
⑦雑収入	228,100	200,100	28,000	
受取利息収入	0	100	100	
その他雑収入	228,000	200,000	28,000	手帳・名刺代4,000円×57名
⑧他会計からの繰入金収入	0	0	0	
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入計	5,008,100	4,532,100	476,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	1,000,000	1,090,000	-90,000	
地域の未来創造委員会	200,000	200,000	0	
子供の夢育成委員会	200,000	200,000	0	
街のにぎわい創造委員会(ハロウィン実)	200,000	300,000	-100,000	
循環の輪輸出委員会	200,000	0	200,000	
組織の力向上委員会	0	200,000	-200,000	
執行部	160,000	150,000	10,000	
事業雑費	40,000	40,000	0	
②管理費支出	2,886,328	2,423,128	463,200	
通信運搬費支出	127,500	127,500	0	切手
消耗品費支出	25,000	25,000	0	封筒代【長3】10,900円【角2】12,200円(税別)・事務用品代
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	292,000	264,000	28,000	手帳1,000円+名刺3000円×57名、手帳OB・予備分1000円×40、コピー使用料24,000円
水道光熱費支出	112,000	112,000	0	灯油代、JCルーム共益分
消耗什器備品費	0	0	0	
賃借料支出	86,000	10,000	76,000	JCルーム土地代負担金、ベチカ年間使用料
保険料支出	0	0	0	
渉外費	0	0	0	
JC間渉外費	30,000	24,000	6,000	
諸渉外費	38,000	10,000	28,000	観光物産協会、国際交流協会、気仙川清流協議会、太鼓フェスティバル実行委員会
大会諸費	35,000	8,000	27,000	京都会議、野球大会、ブロック大会
慶弔費	15,000	15,000	0	
支払手数料支出	12,000	7,500	4,500	銀行振込み手数料
租税公課	92,600	92,600	0	県・市民税、登録免許税、収入印紙
雑支出	51,228	87,528	-36,300	バッジ1,600円、ネームプレート1,700円×15名、送料864円
管理・運営予備費支出	1,970,000	1,640,000	330,000	
③負担金支出	1,105,800	1,005,824	99,976	
日本JC会費支出	453,800	445,324	8,476	=基本金(30000円)+付加金(5000円*会員数)+JCI会費(13ドル*会員数)+国際協力費(1825円*会員数)
出向者負担金支出	30,000	0	30,000	東北地区ゼミナール、日本JC出向
We BELIEVE購読料支出	150,000	147,000	3,000	3,000円×50名
地区負担金支出	92,000	78,500	13,500	=基本金(5000円)+付加金(1500円*会員数)
ブロック負担金支出	380,000	335,000	45,000	=基本金(90000円)+付加金(5000円*会員数)
④他会計への繰出金支出	0	0	0	
特別会計への繰出金支出	0	0	0	
事業活動支出計	4,992,128	4,518,952	473,176	
事業活動収支差額	15,972	13,148	2,824	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
①固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	15,972	13,148	2,824	
前期繰越収支差額	5,583,871	4,191,820	1,392,051	
次期繰越収支差額	5,599,843	4,204,968	1,394,875	

2019年度 一般社団法人陸前高田青年会議所 組織図

